

## 名探偵ごっこ

### 第4話 「キミも名探偵！」

きゃくほん：立川佳吾（トランク機械シアター）

音) カカン

主人公 「ぜんかいまでのあらすじ。ぬいぐるみ（おじさん）とはんにんがいれかわっていた。はんにんのもく  
てきはどうかこの探偵虫メガネらしい。はんにんに じかんをとめられて、だいピンチ。だけどく  
るしまぎれにいった「なんとかしてモード」のおかげで、虫メガネはとられなかったらしい。24じ  
かんごのさいせんをいいのこし、たちさるはんにん。そこにあらわれたなぞのじんぶつ。  
まってるはんにん！メガネはぜんぶ、おみとおし・・・」

はかせ「どうした？なのりに、げんきがないようじゃの。」

主人公「だって。」

はかせ「こわかったかの？」

主人公「うん。」

はかせ「ほんとうにすまない。」

主人公「どうしておじいちゃんがあやまるの？」

はかせ「その探偵虫メガネ。くろとかげがつかっていたオールストップビーム。

すべてワシのはつめいひんなのじゃ。」

主人公「そうなの！？」

はかせ「しかしとっさに「探偵虫メガネ」のきんきゅうモード「なんとかして」をつかうとわ。

おぬしはなかなかさいのうがあるようじゃ。」

主人公「そんなきのうがあったんだね。」

はかせ「うむ。それで、たのみなのじゃが」

あけち「もどった！もどったぞ——！！！」

にんげんのすがたにもどったあけちがかけこんでくる

あけち「もどった！もともどった！ありがとう。キミのおかげだ。」

主人公「いや、それは。」

あけち「そして、きさまがはんにんだな？」

2人「え！？」

あけち「このまちでおかしてきたさまざまなあくぎょう。よくもわたしをぬいぐるみにしやがって！』

主人公「すごいこじんてきなうらみ！」

あけち「せいぎのてっけんをくらえ！」

はかせ「まで。まちたまえ、あけちくん。」

あけち「名探偵パンチ！！」

はかせ「うわあああああ」

音

あんてん

主人公「おじさん！ひとはなしは さいごまでちゃんときかなきゃだめだよ！」

あけち「はかせ、すいませんでした。」

はかせ「まったく。」

主人公「とにかく！くろとかげは、24じかんに、この探偵虫メガネをうばいにやってきます。だからそれまでにはどうにかしないと。」

あけち「なるほど。キミにはせわになった。あとはこの名探偵にまかせたまえ。虫メガネを。」

主人公「はい。」

音) びりびりびり

あけち「びりびりびり！！なんだ！？」

主人公「え？」

はかせ「虫メガネのきんきゅうモードにより、キミしかつかえなくなっているのじゃ。」

主人公「ええ！？」

あけち「そんな！その虫メガネはわたしのだぞ！！かえせ！！」

主人公 「そんなこといわれても。わたしだってかえしたい。」

あけち 「まあいい。ここは虫メガネがなくても、わたしが名探偵であるということを見せつけるチャンス。あと  
のことはわたしにまかせて、あんしんしてすごしたまえ。さらばだ！！」

あけち さる

主人公 「いっちゃった。だいじょうぶかなあ？」

はかせ 「大丈夫じゃろ。探偵虫メガネをもっていないあいつは、ただのおもしろいおじさんじゃからな。」

主人公 「はい。」

はかせ 「うむ。」

主人公 「あの、

はかせ 「なんじゃ？」

主人公 「くろとかげをたすけてほしいって、どういうこと？」

はかせ 「くろとかげはワシのまご なんじゃ。」

主人公 「え？」

はかせ 「むかしはな、あけちくんも、こばやしさんも、くろとかげもなかよくあそんでいたんじゃ。しかしワシ  
が探偵虫メガネをつくってしまってから、かわってしまったんじゃ。」

主人公 「どういうこと？」

はかせ 「3人は探偵ごっこがだいすきでな。こうたいでたんてい、じょしゅ、はんにんをやってあそんでたんじ  
ゃ。あまりにもたそしそうなもんで、わしが探偵虫メガネをつくってわたしたら、あけちくんがひと  
りじめしてしまってお」

主人公 「え？」

はかせ 「それいらい、くろとかげはずっと はんにんをしているのじゃ。」

主人公 「じゃあ おじさんが ぜんぶわるいじゃん！」

はかせ 「そうなんじゃ。じゃからワシもくろとかげをたすけるためにあたらしいはつめいひんをつくってはわた  
していたんじゃ。」

主人公 「え??」

はかせ 「ひとをぬいぐるみにするピームや、オールストップピームや、」

主人公 「おじいちゃんもわるいじゃん！」

はかせ 「なんでじゃ!？」

主人公 「もうー!! ダメな大人っ!!」

はかせ 「ええっ!？」

主人公 「べんりなものをいっぱいつくってあげるのはいいいけど、あげたときに つかいかたとか、あそびかたとか、つかうときのやくそくとか、そういうこともおしえてあげなくちゃだめだよ! だからこうゆうことになっちゃうんじゃん!」

はかせ 「そうか。ワシは、まちがったことをしてしまっていたのか。・・・どうしたらいいんじゃ」

主人公 「・・・やりのおすしかないんじゃない？」

はかせ 「え？」

主人公 「3人がまた、たのしくいっしょにあそべるようにさ。」

はかせ 「どうやって？」

主人公 「ぼく、くるとかげさんのところいってくるよ!」

てんかん

おんがく

ぶたいがリビングではなくなって、まっくろになる

じゅうじか にはりつけになってるようなかんじでつかまっている あけち・こばやし

あけち 「くるとかげ! こんなことをしてゆるされるとおもってるのか!？」

こばやし 「ごめんなさいねえ。あなたのきもちちにきづいてあげられなくて。」

あけち 「こばやしさん、こんなやつにあやまるひつようなんでない!」

こばやし 「せんせいはあやまったほうがいいですよ! あなたのせいなんですから。」

あけち 「わたしは! みとめないぞ!!」

くるとかげ 「いつもワガママばかり。そうやって探偵虫メガネをいつもひとりじめしてたもんね。

しょうちゃんは。」

あけち 「そんなことない。いってくれたら、かしてあげたさ。」

くるとかげ「うそばかり。」

あけち「うそじゃないさ。」

くるとかげ「それにね、かしてあげるって。あなたのものじゃないんだけど！みんなのものだったんだけど！！」

あけち「し、しってるよ。たまたま、たまたまそのことばをつかっちゃっただけじゃないか」

くるとかげ「かしてあげるなんてことばがでるってことは、あなたはこころのなかではあの虫メガネをじぶんのものだとおもってるってことなのよ。」

主人公とうじょう

主人公「くるとかげさん！」

あけち「おお！よくきてくれた！たすけてくれー！」

小林「ごめんなさいね、めいわくばかりおかけして。」

くるとかげ「へえ。てっきりガタガタふるえてにげだすとおもっていたのに。」

主人公「にげないよ。くるとかげさんにはなしがあつてきたんだ。」

くるとかげ「あらゆうかんだこと。虫メガネをもってるからってつよきになっちゃって。」

主人公「ちがうよ、くるとかげさんとあそびにきたんだよ？」

くるとかげ「え？」

虫メガネをおく

主人公「ぼくがはんにん、くるとかげさんが 探偵。」

くるとかげ「・・・。」

主人公「探偵虫メガネつかっていいから、ぼくに はんにんやくのアイテムをつかわせて？」

くるとかげ「・・・いいわよ。」

いどうして、主人公はテレビがわにいく。そうするとあけちだけがうつっている。

あけち「ば、バカモン！なにをしているんだキミは！！」

主人公「はっはっは！よくきたな名探偵。ひとじちをかえしてほしければ、どげざしてあやまるんだな。はっ

はっはっはっは！」

くろとかけ「・・・いいえ。わたしは名探偵、くろとかけ。わたしには、あなたが犯はんになんでない

ことはおみとおしよ。」

主人公「ばかな！ではこのじょうきょうでだれがはんにんだというのだね！？」

くろとかけ「名探偵！しんじつモード！これで、すべておみとおしよ。はんにんは、」

主人公「はんにんは？」

くろとかけ「・・・わたしよ。」

おんがく

くろとかけ「ありがとう、あなたのおかげで、ようやく探偵やくができたわ。」

主人公「いいよ、おれいなんて。」

くろとかけ「ありがとう。」

主人公「どういたしまして。」

くろとかけ「2人ともごめんね。」

音) ス パ ン 2人のこうそくがはずれる

くろとかけ「これで、ながかった探偵ごっこもおしまい。・・・じしゅするわ。」

こばやし「いっしょに、いってもいい？」

くろとかけ「ありがとう。」

あけち「ごめん。」

くろとかけ「いいよ。」

くろとかけと、こばやしがさっていく

あけち「キミは、ほんとうの名探偵だった。わたしは、ただのおろかものだったようだ。探偵虫メガネは、キミ

が気づかっけていてくれないか？」

主人公「え？」

あけち 「くろとかげがけいむしょからでてきたら、いっしょにあそぶから。それまであずかっていて  
くれないか。」

主人公 「うん。」

あけち 「ありがとう。」

3人、さる

主人公 「こうして、あわただしかったひびはようやくおわりをつげた。ぼくのもとには、この虫メガネとカード  
ドがのこった。はかせがいうには、」

博士 「カードはじぶんでつくることもできるから、いろいろはつめいしてみるんじゃぞ。」

主人公 「ということだったので、まだまだあたらしいこともできそうだ！

だけど、じゅんばんにつかうから、あたらしいことをためすのは、まださきになるかな。ん？ああ、  
じつはくろとかげさんがしたわるいことって、おじさんとこばやしさんにだけだったみたいで、2人が  
いいよってゆるしたから、けいむしょには はいらないですんだみたい。

だからいまでは、おじさんとこばやしさんとくろとかげさんと、はかせの5人で たんていごっこを  
してあそんでる。さーて、きょうはだれがたんていやくかなー？」

エンディングイントロ

あけち 「たんていジャンケンはじめろー！」

ぜんいん 「ジャンケンぽん！あいこでしょ！あいこでしょ！」

あんてん

ぜんいんでエンディング・スタッフロールもながれる

おわり



